

商社の未来像



著者 中谷 巖
(一橋大学教授)

出版社 東洋経済新報社

定 価 1,700円 (税別)

四六判 約310ページ

全国の書店で販売中

日本貿易会は創立50周年の特別研究事業として「商社の未来像」委員会を設置し、歴史的転換期にある日本の商社の未来像について1年半の歳月をかけて調査研究を行いました。

今般、その成果が中谷巖一橋大学教授の編著によりまとめられ、本書『商社の未来像』が東洋経済新報社より発刊の運びとなりました（3月23日発売）。

本書は、本格的な大競争時代が予想される21世紀において、商社が「グローバル・ビジネス・クリエーター」としての役割を果たすべきとして、『戦略的総合主義』など6つの基本戦略を提言しています。

同時に、大手商社21社の「経営トップが描く商社の未来像」、大手商社の第一線で活躍する商社マンが日々の実務を通して展望する「情報」、「資源・エネルギー・環境」、「金融」、「プロジェクト・エンジニアリング」、「物流」、「その他新規ビジネス」という6つの「商社のテーマ別課題と新戦略」を提示するなど、他に類をみない本格的な商社研究書に仕上がっています。

さらに、意思決定プロセス、人事システム、組織制度など、ここでとりあげられている商社の経営課題は、日本企業全体が直面している課題とも多くの点で共通しており、本書が一般ビジネスマンにも大きな刺激になることを期待しています。

本件照会先 (一社) 日本貿易会 企画グループ

Tel: 03-5860-9350

Fax: 03-6800-3408